

# 和歌山だよい

平成23年

6月号



南高梅

## CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P9
3. お知らせ…………… P10～P12
4. ふるさと歳時記…………… P13



国体のマスコット

## 「社会実験」

社会実験という言葉が大はやりです。現政権が色々と新しい政策を行う際にこの言葉を使い、マスコミがそれをどっと流したもので、現在一種の流行語になっています。例えば、高速道路の料金ですが、どこかの路線だけ、つまみ食いで無料化がなされています。本来公平の見地からは全国で一律の合理的な基準に従って決められるべきものが、社会実験ということで、あっという間に正当化されてしまいます。本来実験という考えは、自然科学のものです。私達は理科の実験を色々習いました。これは物質や機械器具を使って行います。医学になると、これに加えて動物などで実験します。その過程で動物が苦痛を感じたり、死んだりしますが、人類の幸せのために犠牲になってもらっています。そうして、よほど安全だと確かめた上で治験と称して、人間に試してみるのです。

私は、人間生活に実験を軽々しく行うことは反対です。その意味で、社会実験だと言って十分な結果予測もしないで政策を行うのは神をも恐れぬ所業だと思います。間違った政策を実験して影響を受けるのは生身の人間です。無料化がなされた高速道路で渋滞が発生し、そこからはずれたところで観光客がた減りになる。そうしておいて、渋滞が起こったからじゃあやめたでは、人間は振り回されるだけです。人権とかプライバシーとか人間を軽く扱わないという流れは強固だと思っていたら、ちょっと格好いいスローガンが唱えられ、マスコミがあおったら、人々がそれを無批判に受け入れ生身の人間や地域を社会実験の名のもとに振り回す。恐ろしいことだと思います。

政治や行政の世界では果敢に実施しなければならないことは一杯あります。決断力のないどこかの政治家のように、生ずる影響を恐れて責任回避のため、やたらとぐずぐずしているというのも問題ですが、生身の人間を相手にする限り、その政策でどういう影響がどう出るか、そのために打つ手として他に何をしなければいけないか、ありとあらゆることを考えに考えぬいた上で（しかもそれを迅速に行った上で）責任を持って実施することが正しいことだと思います。



定例記者会見での

仁坂知事

## 今月の和歌山県政トピックス

\* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします

### ● 「紀の国わかやま国体」に向けて 準備進行中！！

#### マスコットデザインが決定しました！！

・6月7日に開催された国体準備委員会において大会のマスコットデザインが決定しました。

・紀州犬をモチーフにしたマスコットにふさわしく、親しみやすい愛称を募集中です。応募資格に制限はなく、どなたでも応募できます。詳細は、紀の国わかやま国体のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.wakayama2015.jp/>

名前を付けてね！！

#### ■ マスコットプロフィール

紀州犬をモチーフにした元気いっぱいのマスコット。体の緑色のマークは、和歌山の頭文字Wと豊かな緑を表現。生まれ育った和歌山の自然とスポーツが大好き。いろんなことにチャレンジして、たくさんの人と友達になりたいと思っています。

頑張る人を応援し、紀の国わかやま国体を盛り上げていきます。



#### 「公開競技」・「デモンストレーションスポーツ」実施競技と会場が決定

・この委員会において、「公開競技」・「デモンストレーションスポーツ（第1次選定）」の実施競技(行事)及び会場地市町村が選定されました。公開競技は1市3町で4競技、デモンストレーションスポーツは4市6町で15行事が実施されます。

・既に決定している「正式・特別競技」と併せて、これで、県下30市町村全てで国体競技が開催されることとなります。

#### 公開競技

紀の川市	綱引
高野町	ゲートボール
広川町	パワーリフティング
すさみ町	グラウンド・ゴルフ

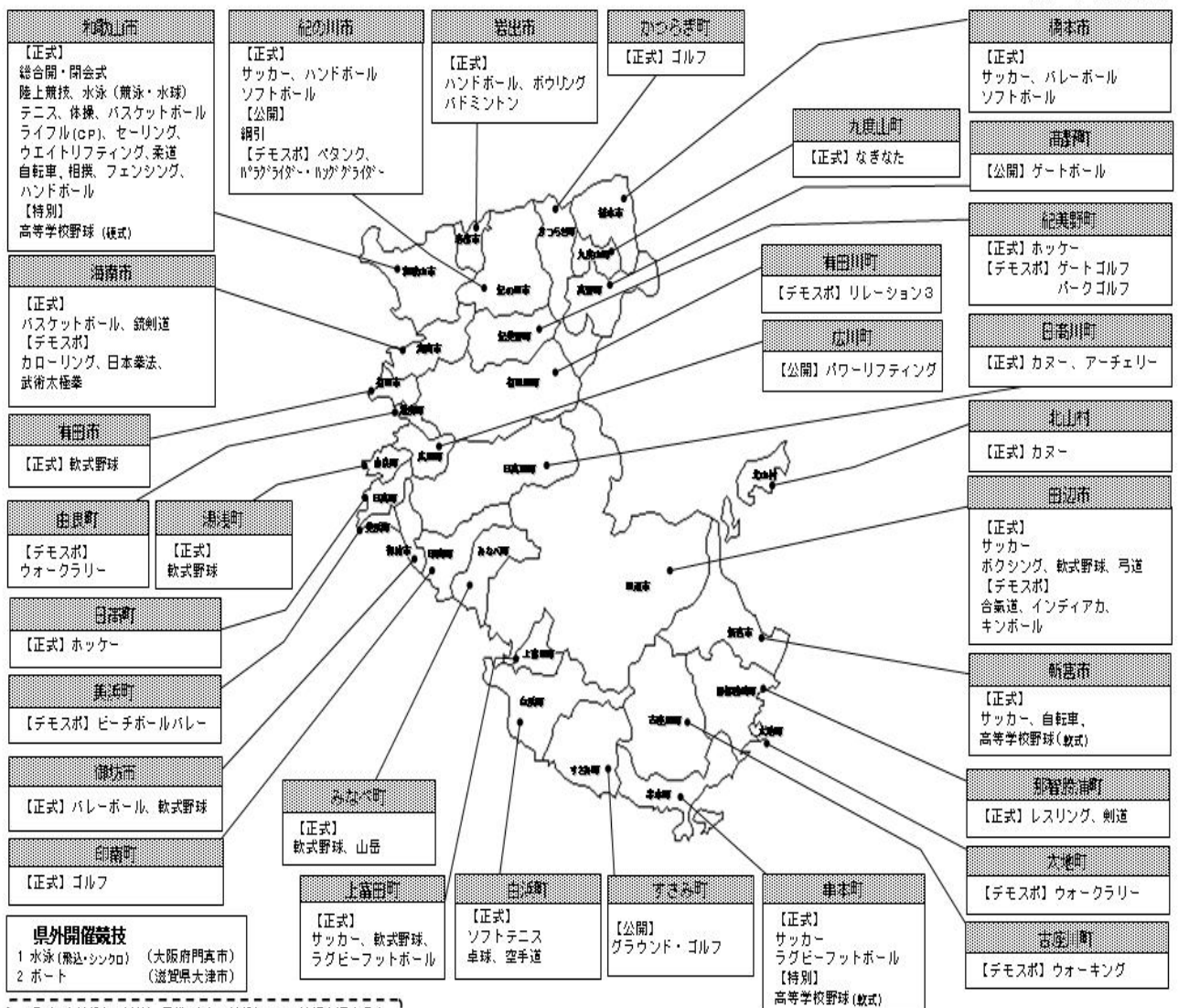
国体では、「正式競技（天皇杯皇后杯の成績対象）」「特別競技（高等学校野球）」以外に、スポーツ振興や生涯スポーツ社会の実現のため「公開競技」や「デモンストレーションスポーツ」を開催することができます

デモンストレーションスポーツ

海南市	カローリング、日本拳法、武術太極拳
橋本市	ソフトバレーボール
田辺市	合気道、インディアカ、キンボール
紀の川市	パラグライダー・ハンググライダー、ペタンク
紀美野町	ゲートゴルフ、パークゴルフ
有田川町	リレーション3 (3人制ゲートボール)
由良町	ウォークラリー
美浜町	ビーチボールバレー
太地町	ウォークラリー
古座川町	ウォーキング

第70回国民体育大会 会場地市町村及び開催競技

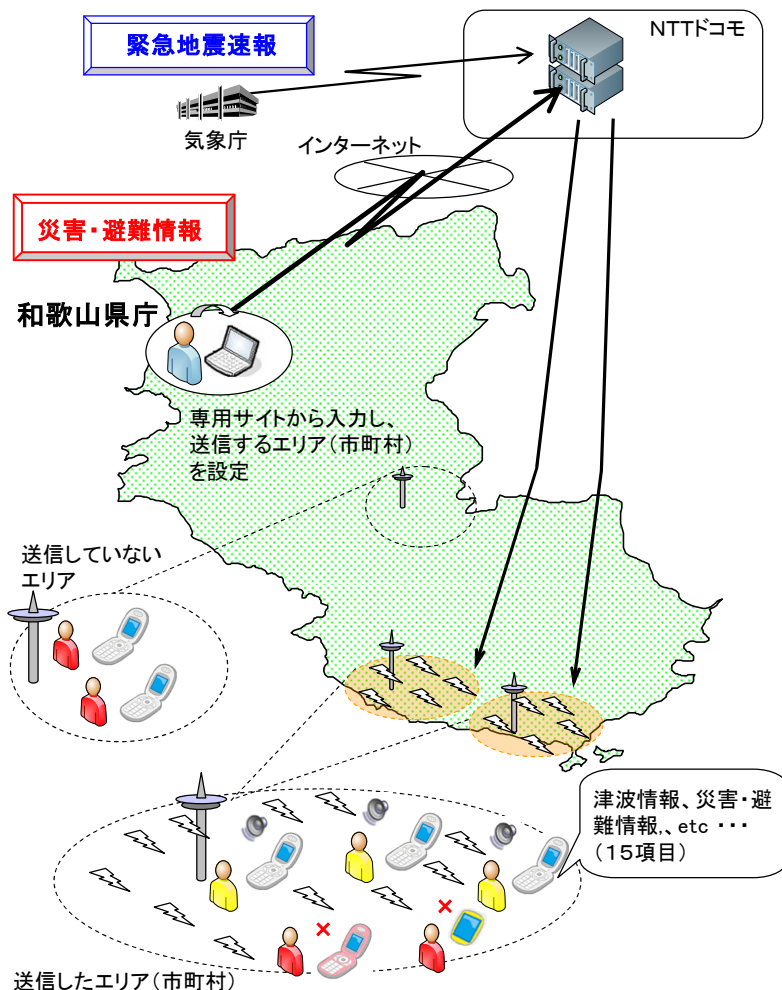
平成23年6月7日現在



● 「エリアメール」を導入し、「避難カード」を全世帯へ配付します！！

- ・緊急地震速報や災害・避難情報をできるだけ早く住民等に周知するため、都道府県では全国で初めて、NTTドコモのサービス「エリアメール」を導入します。
- ・「エリアメール」は気象庁からの緊急地震速報や、県の各種災害情報や避難情報15項目(大津波警報、避難指示避難勧告、土砂災害警戒情報など)を発信することができます。
- ・個人での申込や設定は不要で、被災の恐れのあるエリアに一斉配信されるため、エリア内にいる観光客も対象となります。
- ・「エリアメール」の周知に併せて、住民一人ひとりが、適切な避難場所等を自覚できるように、NTTドコモと連携し「避難カード」を作成し、全世帯へ配付します。
- ・「避難カード」は、和歌山県地震・防災対策総点検専門家会議の片田委員（群馬大学大学院工学研究科社会環境デザイン工学専攻教授）の監修を受けて作成するもので、現在、レイアウト等を検討中です。

【エリアメール送受信のイメージ】



【避難カードイメージ】

避難カード

緊急避難先

しめい氏名

住所

生年月日

性別

家族

緊急連絡先

避難場所

緊急避難先

風水害

避難場所

大避難場所

● 「わかやま節電アクションプラン」を策定

・和歌山県では、県内の経済活動に支障を及ぼさず、地域の活力を失わないように配慮しながら、行政、県民、事業者が一丸となって取り組む和歌山スタイルの節電対策「わかやま節電アクションプラン」を取りまとめました。

・対象期間は平成23年6月22日（夏至）～9月23日（秋分）で、電気使用量の削減目標は前年同期比5%、8月については、更に5%上乗せして10%以上の削減を目指します。

・今後、電力需給の見通しがさらに厳しくなった場合は、必要に応じて、柔軟に対応する予定です。

・詳細についてはホームページをご覧ください。

[http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/econet/setuden\\_act/index.html](http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/econet/setuden_act/index.html)

■主な取組

I 暑い夏は家族そろってお出かけキャンペーン

○県立の博物館施設4館で料金割引（8月中）

○集客施設等への料金割引、イベント実施などの協力呼びかけ

II 県庁における取組

○夏季5%以上削減達成メニュー

冷房施設の運転時間短縮、廊下の蛍光灯照明の50%消灯、冷蔵庫・電気ポットの50%削減などを新たに実施

○ピーク期（8月）10%以上削減達成メニュー

運用エレベーターの削減、「毎日がノー残業デー」の展開、エコオフィス推進員による節電実施状況把握などを新たに実施

III 家庭に向けての働きかけ

○県内40万戸への節電協力の呼びかけ

通常の節電目標5%、ピーク時の節電目標は10%以上

エアコン28℃設定等、基本4アクションの実施を

○わかやま夏のエコチャレンジ表彰

○「うちエコ診断員」の無料派遣

IV 産業・業務部門に向けての働きかけ

○オフィスなど生産や経済活動に影響が出ない施設や場所での節電協力の呼びかけ

通常の節電目標5%、ピーク時の節電目標は10%以上

○中小企業の省エネ設備導入を支援

振興対策資金（環境枠）、成長サポート資金（環境推進枠）

○節電省エネセミナーを開催

○節電対応状況調査の実施

### ● 「元気な和歌山」の実現に向けて、和歌山独自のプロジェクトを展開中！！

#### わかやま版過疎集落支援総合対策第二弾計画決定！！

・住民生活の一体性を重視した過疎生活圏（昭和の大合併前の旧町村や中学校区等を想定）単位で住民や行政が一緒になって、地域の再生・活性化に取り組む「わかやま版：過疎集落支援総合対策」の第2弾として、「<sup>まくに</sup>真国生活圏（旧美里町・現紀美野町）」の「芸術を核とした住民主役の集落づくり」への支援を決定しました。

・「真国生活圏」では、小学校の統廃合等による交流機会の減少や、鳥獣被害により農作物の生産者が減り、地域の活力が低下しています。

・地元の「りら創造芸術高等専修学校」と連携した「まくに芸術祭」の開催や空倉庫を改修した「まくにアートカフェ」をオープンするなど、「芸術を核とした元気な集落づくり」を進めていきます。

・また、遊休農地を活用して「まくに農園」を整備し農産物の生産を行い、収穫した野菜の加工品開発や販売をはじめ、農業体験ツアーを開催するなど、地域外との交流にも力を入れていきます。



まくにアートカフェ（イメージ）

#### 平成23年度わがまち元気プロジェクト 第1弾！！

・地域資源を活用した「まちおこし」に積極的に取り組む市町村等を支援する「わがまち元気プロジェクト」として、「熊野古道 ちかの“平安の郷”プロジェクト」を決定しました。（通算10番目）

・田辺市中辺路町の「近露・野中地域」は、「世界遺産熊野古道」と山里の原風景を有する風光の地ですが、本宮地域への一通過点となってきました。

・近露・野中地域を「平安の郷」と位置づけ、熊野古道沿いの空き家を活用した誘客拠点施設の整備や、食・景観など地域の素材を活かした魅力づくりをすすめて、歴史的魅力や優れた景観など、近露・野中地域の持つ強みを活かしたまちづくりを進めていきます。



熊野古道(近露王子付近)



空き家を活用した誘客拠点施設

●国際線ファーストクラス・空港内ファーストクラス、ビジネスクラスラウンジに県産品を使用したメニューが提供されます！

- ・平成23年6月～8月のANA国際線ファーストクラス機内食と空港ラウンジメニューに県産食材が登場することになりました
- ・県では海外での「わかやま産」ファン獲得を目標に国際線利用客をターゲットにした販路開拓活動に取り組んでいます。

・ANAの成田発欧米線ファーストクラスでは洋食フレンチコースの前菜として「紀州南高梅とフォアグラのテリーヌ仕立て」が登場します。

- 対象路線： ANA欧米線ファーストクラス  
 1日9便運行（席数は1機当たり8席）
- 行先： ニューヨーク、シカゴ、ロサンゼルス、  
 サンフランシスコ、ワシントン、ロンドン、  
 フランクフルト、パリ、ミュンヘン線



紀州南高梅とフォアグラのテリーヌ仕立て

・ANA国際線ファーストクラス・ビジネスクラス空港ラウンジでは6種類の県産品が使用された前菜やアラカルト、季節の井などのメニューが提供されます。

メニュー

前菜

- ・ミニロブスターのジュレ、紀州産南高梅風味  
 (2種類の県産品を使用)
- ・真空調理チキンの山椒マヨネーズ
- ・和歌山産金山寺味噌とオリーブ、野菜スティック添え

和食の季節の井物

- ・和歌山産鰯の照り焼き井

洋食ホットメニュー

- ・和歌山産太刀魚のフリカッセ、バジル風味



前菜提供イメージ



● 景観支障防止条例を6月議会に提案！！

・著しく劣悪な景観により県民の生活環境が阻害されることを防止するため、景観上支障となる廃墟への対策として、6月議会に、「建築物等の外観の維持保全及び景観支障状態の制限に関する条例（通称：景観支障防止条例）」を上程しました。

・この条例は、周辺住民からの要請をもって、県が景観に支障となっている廃墟の所有者等に除去などの措置の「勧告」や「命令」さらには「代執行」を行うもので、財産権と公共の利益を新しい視点で調整を行う、法学上でも画期的な全国初の取り組みです。

建築物等の外観の維持保全及び景観支障状態の制限に関する条例案（通称：景観支障防止条例）

○ 建築物等を廃墟にしないように最低限の規範を規程

建築物所有者等の責務

建築物等の外観について、周辺の良い景観に支障となる廃墟とならないよう維持保全に努めなければならない。

建築物等の状態規制

建築物等の外観については、著しい破損、腐食等により、周辺の良い景観と著しく不調和な状態（景観支障状態）であってはならない。  
※現に使用されているものや文化財等は除く。

○ 周辺住民からの要請をもって必要な措置の勧告や命令を発出

周辺住民の要請

景観支障状態である廃墟の周辺住民は、除去などの措置をとるよう共同で要請することができる。

勧告

必要と認められれば、除去などの措置をとるよう勧告を行う。

命令

勧告に従わない場合で特に著しい景観支障状態のものについては命令を行う。

※除去等の措置に係る費用は、原則、所有者等の負担。

※命令に従わない場合で、著しく公益に反すると認められる場合は行政代執行の対象となりうる。

※条例施行以前から景観支障状態の場合、除去により生じる受益を差し引いた上で損失補償を行う。

※この条例は議会での可決後、平成24年1月1日から施行されます。

●「在京和歌山県人会通常総会」開催

- ・ 6月19日、目黒雅叙園（東京都目黒区）において、在京和歌山県人会通常総会が開催されました。
- ・ 総会では、竹中会長の挨拶のあと、事業報告や予算などの議事が承認されました。
- ・ 続く懇親会では、出身市町村ごとにテーブルが設けられ、和やかなひとときを過ごしました。
- ・ また、会場内にはわかやま喜集館による県産品の販売コーナーも設けられました。
- ・ 在京和歌山県人会の方々には、ふるさと納税等でご協力をいただいていることに感謝申し上げます。



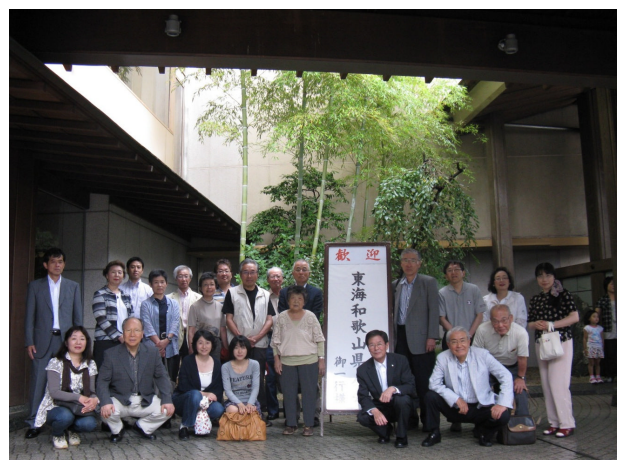
竹中会長による挨拶

●「京都和歌山県人会定時総会」開催

- ・ 6月19日、ホテル平安会館（京都市）において、京都和歌山県人会定時総会が開催されました。
- ・ 総会では、松井会長の挨拶、松尾副会長からの事業報告や事業計画の承認などの後、役員の変更が行われ、新会長に松尾副会長が就任しました。議事終了後は大徳寺・瑞峯院の前田昌道住職が「仏心について」と題して記念講演されました。
- ・ 懇親会では、田辺市による梅酒の試飲コーナーが設けられ、会員の皆さん全員でのカラオケなど楽しいひとときを過ごしました。
- ・ 京都和歌山県人会の方々には、ふるさと納税等でご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

● 東海和歌山県人会 ふるさと訪問旅行

- ・ 6月18日、19日、東海和歌山県人会の「ふるさと訪問旅行」が行われました。
- ・ 朝8時にバスで、名古屋を出発。九度山町で慈尊院を参拝し、昼食を取った後、白浜温泉へ。旬の味覚に舌鼓をうち、温泉で日頃の疲れを癒しました。
- ・ 翌日は、三段壁洞窟等を見学した後、田辺市の秋津野ガルデンを訪問。参加者全員でのジャムづくりを体験した後、地元野菜を使ったバイキングの昼食を楽しみました。
- ・ 昼食後はJAの直売所にも立ち寄り、帰路につきました。
- ・ 東海和歌山県人会の方々には、ふるさと納税等でご協力をいただいていることに感謝申し上げます。





和歌山の旬のこだわり情報をお届けします

# 梅を食べて元気いっぱい！

このたびの東日本大震災により被害を受けられた皆様に、心からお見舞い申し上げます。

梅干しは白いご飯とよく合い、長期保存が可能で抗菌作用があると言われてることもあり、和歌山県内の梅加工業者が支援物資としてお送りした紀州の梅干しが現地でも好評だったそうです。和歌山県が誇る梅干しを食べて、皆様に元気になって頂きたいと思います。



さて、みなさまもご存じのとおり、和歌山県は梅の出荷量が日本一。全国の出荷量 79,700tのうち、和歌山県の出荷量が 54,300t を占めています（平成 22 年度農林水産統計）。主な産地はみなべ町と田辺市で、品種は南高、古城（ごじろ）、小梅です。和歌山県の主力選手である南高梅は日に当たると、ほっぺのようにほんのりと紅色に色づきます。果肉が厚く、皮が薄くて、やわらかい、ふっくらとした食感が特徴。調査研究に協力した南部高等学校が名前の由来となっています。特に、紅色が鮮やかなものは「紅南高（べになんこう）」と言って、市場に出回りにくく希少価値があります。

## ～産地レポート～

今年の梅の開花は、2月に入って始まりました。南高では平年よりやや遅い2月20日～22日に満開を迎えました。3月は平年よりちよっぴり寒かったため、少し生育が遅れています。出荷販売は小梅・古城は5月下旬から、南高は6月初旬から始まりますよ～！

## アスリートも重宝！

梅にはただならぬパワーが秘められていることが次々と研究で明らかにされています。

1. 胃ガンの抑制
2. 食中毒から身を守る
3. 動脈硬化を抑える
4. 血液サラサラ
5. 糖尿病を防ぐ
6. 抗酸化で毎日元気（みなべ町HPより）

サッカーの長友選手（インテル）のブログで和歌山の梅干しが紹介されました。梅干しには疲労回復、スタミナ保持に良いとされる“クエン酸”が多く含まれています。試合前にも食べていらっしゃるのことで、梅干しはアスリートにとっても必需品なのですね♪

次のページではこのような機能性成分がたくさん含まれている梅を使った梅ジュースの作りかたを紹介します！



## 暑さ対策！青梅×清涼感

今年も暑くなりそうですね。蒸し暑い日にピッタリの梅ジュースや梅酒をご家庭でつくってみてはいかがでしょうか？青梅フレーバーで夏を爽やかに過ごしてください。



“梅を冷凍させること”がポイント！疲労回復に良いとされるクエン酸、殺菌効果があると言われるポリフェノールの豊富な梅シロップが短期間でできあがり！

☆材料☆

紀州南高梅1kg、氷砂糖1kg

☆つくりかた☆

- ①一晩、青梅を家庭用冷凍庫へ
- ②青梅と氷砂糖を交互に積み重ねる
- ③冷暗所に保管。約10日間後に出来上がり！

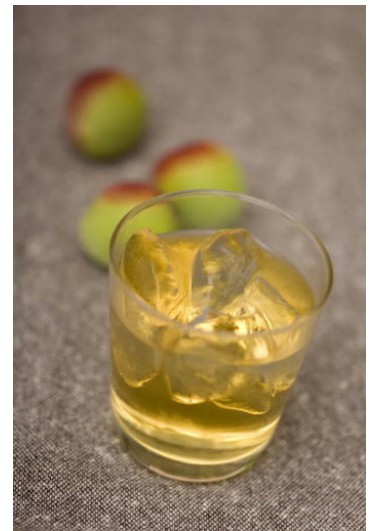
～おすすめ！おいしい飲み方～

水で4～5倍に薄めるとおいしい梅ジュースに。牛乳で割ると、ヨーグルト風味のドリンクの出来上がり！ハイボールやブランデー、焼酎で割ってもいいですね♪アレンジ次第で自由自在！ぜひ、あなただけの飲み方をお楽しみください。

## 梅酒de乾杯！

「乾杯～！」飲み会でよくあるこのシーン。あなたの片手にはどんな飲み物がありますか？

6月11日は「梅酒の日」。ビールや日本酒、カクテルもいいけれど…ちょっぴり気分を変えて“梅酒”で乾杯してみませんか？「梅酒は飲みやすいし、フルーティで大好きなんですよ♪」と話してくれたのは新人…ではなく2年目を迎えたTさん。特に、女子会では梅酒が大人気だそうです。「梅酒にもたくさん種類があるんですよ。にごり梅酒、ゆず梅酒、緑茶梅酒などいろんな味を飲み比べて楽しんでいきます。みなさんも夏バテなんかに負けずに梅酒を飲んで元気に過ごしましょう！」



# 和みわかやま 宿泊得々キャンペーン

【対象期間】

平成23年7月1日（金）～平成24年3月31日（土）

～わかやまに泊まって現金3万円をゲットしよう！！～

【応募条件・賞品】

キャンペーン期間中に和歌山県内のホテル・旅館・民宿・宿坊など旅館業法に基づく営業許可を受けた施設に宿泊した人の中から、抽選で**500名**に以下の賞品をプレゼントします！！

①現金3万円(毎月10名 計90名 + Wチャンス10名 合計100名)

②プレミア和歌山認定商品【2,000円相当】(毎月40名 計360名+Wチャンス40名 合計400名)

\*抽選日(締切) 8月10日, 9月12日, 10月11日, 11月10日, 12月12日, 1月10日, 2月10日, 3月12日, 4月10日

\*「Wチャンス」は第1回から9回までの抽選にもれた方を対象に再度抽選します。(4月10日)

【応募方法】

右下「応募用紙」欄に必要事項を記入し、宿泊施設にて宿泊証明を受けたうえで、当該箇所を切り取り、ハガキ裏面に貼付し当連盟あてに送付して下さい。(※平成24年4月5日(木)消印有効)

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 社団法人 和歌山県観光連盟 和みわかやま宿泊得々キャンペーン係

※応募の際に記入された個人情報は、当連盟にて適切な管理のもと、本キャンペーンの目的に限り利用いたします。

【抽選・当選発表】

当選の発表は、毎月実施する抽選にもとづく賞品の発送をもってかえさせていただきます。

【ハガキ表面に添付のうえ送付下さい】

〒640-8585 **平成23年度用**

和歌山県和歌山市小松原通1-1  
和歌山県庁観光振興課内

社団法人 和歌山県観光連盟



応募用紙【ハガキ裏面に添付して下さい】 **平成23年度用**

切り取り線

ふりがな 氏名			
住所	(〒 - )		
電話番号		年齢	
メールアドレス (観光情報の御案内を希望する方)			
以下のアンケートにご協力下さい。(該当するものに○して下さい)			
①宿泊得々キャンペーンを何で知りましたか。			
1 連盟HP 2 新聞 3 ラジオ 4 口コミ 5 その他( )			
②この度のご訪問の主な目的をおしえて下さい。			
1 観光 2 温泉 3 グルメ 4 仕事 5 その他( )			
ご意見等ご記入下さい			
宿泊施設 証明印	確かに上記の方が宿泊したことを証明します。 (宿泊年月日:平成 年 月 日～ 月 日)		
所在地 宿泊施設名 代表者名 又は 担当者名	印		

～ 国宝長保寺と旬の味覚を訪ねて ～

**長保寺**

- ・長保寺は、長保2年（1000）に、一条天皇の勅願により建立されたといわれ、後に初代紀州藩主徳川頼宣が紀州徳川家の菩提寺に決めました。
- ・境内には国指定の史跡となっている広大な墓所があり、後に将軍となった吉宗と慶福（14代将軍家茂）を除く歴代の藩主がこの地に眠っています。
- ・現存する本堂、大門、多宝塔は鎌倉時代末期から南北朝時代に建立されたものです。この時代のもものがまともに残っているのは極めて貴重で、国宝に指定されています。



**旬の味覚 その1 鱧**

- ・関西の夏を代表する味覚“鱧”。紀伊水道は、良質の鱧が獲れる漁場として有名で、特に、海南市下津町で水揚げされる鱧は皮が柔らかくて食べやすく絶品と言われています。合併前の旧下津町では「鱧」を町の魚に定めていました。
- ・「鱧は梅雨の雨を飲んで美味しくなる」とも言われるように、これからがまさしく旬です。中でも卵を持った雌の鱧が一番美味と言われています。
- ・地元の料理店で味わえるのはもちろんですが、「ふるさと和歌山わいわい市場」など、インターネットを通しての販売もされており、絶品の味を手軽に家で楽しむこともできます。



**旬の味覚 その2 びわ**

- ・6月～7月初旬にかけて旬を迎える果物が「びわ」です。
- ・海南市下津町の仁義地区では水はけの良い傾斜地を利用して、明治時代からびわが栽培されてきました。
- ・温暖な気候に加えて、中山間地であるため海岸部よりは雨が多いという土地が、果汁が多くて果肉も柔らかい最高のびわを生み出します。
- ・京阪神をはじめ、全国に出荷されており、通信販売サイトでも広く取り扱われています。

海南市ホームページ <http://www.city.kainan.wakayama.jp/>

## ～編集後記～

今年は、平年に比べ10日以上も早い梅雨入りとなり、和歌山では長雨が続いておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

現在、全国各地で「節電」への取り組みが進められています。夏に向かって電力需要が多くなる中、本県でもトピックスでご紹介しました「わかやま節電アクションプラン」を作成し、夏至から秋分にかけての「節電」を広く県民の皆さんに呼びかけています。

各戸にエアコンが普及していなかった、かつての日本では、蒸し暑い夏を乗り越えるため、人々は色々な涼を感じる工夫をしていました。

すだれやよしずで日差しを遮り、風鈴の音で涼を楽しむ。軒先に打ち水をして縁台で夕涼み。夏が旬の食材を日々の食卓に取り入れて体を冷やしたり、スタミナをつけたりと、五官を駆使した様々な工夫がありました。

これらの慣習や風習は、先人達が日本の気候風土の中で育んできた暮らしの知恵が詰め込まれています。

今、時代は、私たちにこれらの「知恵」を改めて見直すことを求めると同時に、私たちがこれらの「知恵」を次の世代へと受け継いで行くことを求めているのかも知れません。

梅雨が明けますと、いよいよ夏本番です。日毎に暑さ増す折、皆様、お体をご自愛下さい。

知事室秘書課長 藤川 崇

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

\*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2011年(平成23年)6月 NO.38

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022